



Contents

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 学長年頭所感 | 5 HT学部社長講座 |
| 2 さくらサイエンスプラン | 6 不動産学部キャリアデザイン |
| 3 歯学部相互交流プログラム | 7 明海スポーツ |
| 4 就職サポート特集 | 8 明海祭・けやき祭 |

学長年頭所感

明海大学だからこそできること

2016年申年の新年を迎えました。明海大学の学生と教職員の皆様、そして同窓会、教育後援会をはじめとして明海大学を支援してくださる多くの皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

「教育の質保証」

さて、社会は政治・経済・医療福祉など、あらゆる面で多くの課題を抱えておりますが、大学教育あるいは大学院教育も常に改革を実行し、学生や保護者の皆様の期待に応えていかなければなりません。

現在の大学に求められている内容



安井利一学長

の本質的なことは「教育の可視化」にあると考えられます。例えば、現在の「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関」を制度化する動きの根底は、質の高い職業人の育成に対して大学が社会、特に経済団体から評価をされていないということです。明海大学は教育の成果としてのラーニング・アウトカムを大切にしてきましたが、さらに保護者の皆様や企業の皆様に理解を深めていただくために一層の可視化を進めています。社会が求める大学教育の質保証の提示が出る前に、既に、明海大学の質保証としての取り組みは始まっています。各学部学科において、本学に入学し、夢を求めて学修する学生に対する教員一人ひとりのアウトカムに一層の期待をしています。本学は昨年、文部科学省の平成27年度私立大学等改革総合支援事業^(※)のタイプ1からタイプ4までのすべての領域で選定を受けました。2年連続しての採択は、本学の教育の質保証の方向性が、社会と乖離していないという一つの証明かもしれません。私たち、教育を預かるものの責務は、次代の国を創る人材育成の責務に匹敵するものです。本学を目指して入学し、学修している学生諸氏や保護者の皆様の期待をしっかりと受け止めていきます。

教育・研究の充実を図る

このような状況の中で、歯学部においても、昨年4月からの「新しい時代の歯科医師」養成を深化させた教育課程の実践が始まっています。今後、2025年の地域包括ケアシステムに対応した教育課程を具体化していきます。分野としても、歯科麻酔学での全身コントロールを基礎として、高齢者歯科学、障がい者歯科学、摂食嚥下・リハビリテーション学を包括的に学修する教育課程を新しく設置予定です。また、大学院と生涯研修部の事業の一体化を行い、高度で優れた臨床の知識と技術を兼ね備えたスーパードクターを目指す大学院「高度口腔臨床科学コース」の教育も順調です。

浦安キャンパスの外国語学部(日本語学科、英米語学科、中国語学科)、経済学部、不動産学部そしてホスピタリティ・ツーリズム学部においては、「明海の人間力」の育成を目指して、人間力形成と専門基礎力の養成、そして夢を実現できる職業選択が可能で高い就職率を目指します。さらに、浦安キャンパスの外国語教育に関する教育課程の再構築と外国語学部におけるグローバル・スタディーズ専攻の充実を図るため、複言語・複文化教育センターを設置しました。この活用を図り「新しい時代のビジネスパーソン」の育成とともに教員養成や言語科学のスペシャリストの育成に力を注ぎます。【2面へ続く】

【1面から続く】

経済学部も、グローバル経済コースとグローバル経営コースに資格検定を取りこみ、質保証に一層の磨きをかけます。不動産学部においても宅地建物取引士資格の取得を皮切りに、今後の我が国の不動産の中核になる人材養成を促進します。ホスピタリティ・ツーリズム学部においては、高い就職率に裏打ちされた教育課程をベースに学生の自己実現への支援を図ります。また、体育会・文化

会活動においても、優秀な監督・コーチの下、国内外での活躍を目指します。

研究活動においては、社会資源となる有意な研究を教員個々が高い倫理観を持って推進していきます。医療においては、歯学部付属病院やPDIでの患者満足度の向上を図ります。また、別科日本語研修課程とアカデミック日本語の教育課程を通じて、グローバル社会を支える優秀な外国人留学生の育成にも力を注ぎます。

「明海大学だからこそできること」に教職員全員の力を結集するとともに、教職員一人ひとりが素晴らしい年になるよう努力します。

(※)私立大学等改革総合支援事業:
「教育の質的転換(タイプ1)」「地域発展(タイプ2)」「産業界・他大学等との連携(タイプ3)」「グローバル化(タイプ4)」などの改革に全学的・組織的に取り組む私立大学等に対する支援を強化するため、経常費・設備費・施設費を支援する事業。

さくらサイエンスプラン

中国・清華大学の研修生が来学

国立研究開発法人科学技術振興機構が行う日本・アジア青少年サイエンス交流事業「さくらサイエンスプラン(※)」の一環として、10月12日から19日の間、中国北京市の清華大学の大学院生7人および引率教員1人が本学で研修を行った。

不動産学部が申請し採択された、さくらサイエンスプラン「科学技術交流活動コース」として、不動産学部の特別講義の受講や都内の建築物の視察、国土交通省や不動産関連企業への訪問を実施。研修には本学大学院不動産学研究科の学生も同行した。

滞在中には歓迎会や昼食会、送別会が開催され、食事を取りながら学生や教員と和やかに懇談し、交流を深めた。また、最終日の送別会では中城康彦不動産学部長から「この体験が皆さんの将来と皆さんの国の将来に役立つことを祈っています」というメッセー

ジと共に、研修生一人ひとりに修了証書が手渡された。

清華大学の学生は今回の研修について、「歓迎していただき感謝している。明海大学と清華大学、また、日本と中国が今後も良い関係を築いていけるように願っている」「同じ分野を研究する日本の学生と友達になることができ、充実した時間を過ごすことができた」「中国の都市開発の現状をぜひ見てもらいたい。今度は皆さんが中国に来てください」などと話

し、本学と清華大学の双方にとって有意義な研修となった。

(※)さくらサイエンスプラン:
産学官の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を短期間訪問し、未来を担うアジアと日本の青少年が科学技術の分野で交流を深め、日本の最先端科学技術に対してアジアの青少年の関心を高め、日本の大学・研究機関や企業が必要とする海外からの優秀な人材の育成を進め、アジアと日本の科学技術の発展に貢献することを目的とする事業。



来学した清華大学の研修生たち

歯学部相互
交流プログラム

シエナ大学の研修生が来学

歯学部では国際未来社会で活躍し得る歯科医師を育成するため、海外協定校との相互交流に力を入れている。なかでも交換研修プログラムは本学歯学部の大きな特色のひとつ。在学中に諸外国の歯科医学の現状を学ぶことができる海外研修制度を設けるとともに、研修に参加した学生が海外から研修生を迎え入れることで、継続的かつ相互的な交流が実現できるプログラムとなっている。

11月8日から11日にかけて、イタリアのシエナ大学から研修生2人とインストラクター1人が来学した。研修生らは9日に坂戸キャンパスを訪れ、歯学部における国際交流の歴史や教育・研究に関する特別講義を受講した後、付属病院や学内の施設見学を行い、日本の歯科医療技術の

最新事情を学んだ。また、昼には教職員らによる歓迎パーティーが開催され、和やかな雰囲気の中、歓談する姿が見られた。3月にシエナ大学への

海外研修に参加した本学在学生在が今回の世話役を務めており、学生間の交流も活発に行われた。

研修生からは、「明海大学病院は最新の設備が整っていると感じた。また、家庭用口腔内ミラ

ーをはじめ、カラフルな歯ブラシ、歯間ブラシなど、イタリアではあまり見かけない歯科用品が多いことに驚いた」といった声が聞かれた。今後もそれぞれの国・大学の歯科医療の強みを共有し、さらなる発展につながることを期待したい。



本学の優れた臨床技術に高い関心を寄せる研修生ら

歯学部
公開講座

健腸生活をテーマに開講

坂戸キャンパスでは、主に健康や医療を題材にした公開講座を毎年開催している。今年度は10月10日に理化学研究所特別招聘研究員の辨野義己氏が「『健腸生活』で健康なカラダを手に入れよう！～大切な腸内環境コントロール～」をテーマに講演し、

会場には市民ら約180人が詰めかけ熱心に耳を傾けた。

辨野氏は、男性は軟便に、女性は便秘になりやすいとし、それぞれストレス、食事（ダイエット）が原因と解説。また、体内には男性は約2キロ、女性は約2.5キロの細菌をもって

いて、中でも大腸は多種多様な細菌がいるため、最も病気の種類が多いと画像を用いて説明した。総括として「腸内だけでなく体の健康状態を知るための便（たよ）りが便（べん）です。腸内環境を整えるためには野菜、つまり食物繊維が不可欠。腸内環境コントロールとは食事、ストレス、運動不足に気をつけ大腸を健康に保つことであり、その結果、腸内環境が良ければ健康、長寿につながります」と締めくくった。

今回の公開講座は著名な辨野氏の講演であったことや、日本人がかかる病気に大腸の病気が多いこともあり高い関心が集まった。

来場者からは「腸内環境を知る方法として便が大切なことがわかり大変勉強になった」「この分野で著名な先生の講演が聴けてよかった」といった声が聞かれ大好評のうちに終了した。



大盛況だった公開講座

就活サポート特集

OB・OGから学ぶ業界・職種研究セミナー

「就職に強い」実学志向の大学を目指す本学浦安キャンパスでは、理想のキャリア実現に向けて、4年間一貫したキャリア教育を行っている。早い段階から就業意識や職業観を養い、卒業後の進路を見据えたキャリア教育を推進しており、就職ガイダンスやセミナーなどを多数開催している。

11月12日には3年生を対象に、サービス、流通、商社、不動産業界などで活躍する本学の卒業生を招いた「OB・OGから学ぶ業界・職種研究セミナー」が行われ、15の企業から卒業生が参加した。実社会で活躍している卒業生から直接話が聞ける絶好の機会とあって、メモを取りながら熱心に説明に聴き入る学生や、卒業生に積極的に質問する学生の姿が見られた。

卒業生からは「就職活動は自分を企業に売り込む機会なので、自分自身を見つめる時間を大切にしてい

い」「今回のような機会を活かして、さまざまな企業を見て、自分の目指す業界を絞るべきだ」「キャリアサポートセンターのOB・OG検索機能を活用して、実際に先輩の話聞いてみることをお勧めしたい」など、実体験に基づく多くのアドバイスが送られた。

参加した学生からは、「卒業生から

親身にアドバイスをいただき、就職活動に対する不安を少し解消することができた」「さまざまな業界で活躍する先輩の話聞いて、仕事内容に対する理解が深まった」といった声が聞かれるなど、業界への理解を深め、将来のキャリアイメージを描く貴重な機会となった。



卒業生の話メモを取りながら熱心に聞く学生

内定者報告会

就職戦線を勝ち抜いた学生からアドバイス

在学生の就職活動をサポートするためのさまざまな支援の一環として、12月3日に内定者報告会が開催された。厳しい就職戦線を勝ち抜き、見事内定を獲得した4年生6人によるパネルディスカッションが行われた。

登壇した4年生は、(株)JTBビジ

ネスネットワークや全日本空輸(株)、埼玉日産自動車(株)などから内定を獲得しており、就職活動に臨む3年生にとって貴重な話が聞ける機会となった。パネルディスカッションでは、それぞれの就職活動に対する心構えをはじめ、エントリーした企業数、実際に面接で聞かれた質問やそ

れに対する回答などが語られた。「第一志望ではない企業の面接を受けた際に面接官から、熱意が感じられないと見透かされてしまった。それ以来、気持ちを引き締め、

受ける面接は全て全力で臨んだ」「公式ホームページやパンフレットに載っている情報は誰でも手に入れることができる。自分の足を使って得た情報こそ価値があるので、積極的にOB・OG訪問や企業訪問をしたほうがいい」「就職活動中は辛いことや大変なこともあるが、自分を信じて最後まで諦めないことが大切」など、実体験をもとにしたさまざまな意見やアドバイスに、参加した3年生は真剣な表情で聞き入っていた。

参加した学生は「先輩たちの話を聞いて今から準備すべきことが明確になりました。私も第一志望の企業を目指して頑張りたいです」と語り、今後の就職活動に向けてやる気に満ち溢れていた。



内定獲得までの道のりを語る4年生

ホスピタリティ・ツーリズム学部 社長講座

帝国ホテル会長らが講演

ホテルや旅行、エアライン業界などに高い就職実績を誇るホスピタリティ・ツーリズム学部（以下、HT学部）では、企業が求める人材を育成することを目的に、実践教育に力を入れている。

HT学部の授業科目「特別講義Ⅱ（通称：社長講座）」では、日本のHT業界を代表する企業の経営トップを招き、オムニバス形式で業界の動向や仕事に対する心構えを学ぶ。11月5日に(株)帝国ホテル会長の小林哲也氏（HT学部客員教授）、26日に全日本空輸(株)常務取締役執行役員オペレー

ション部門副統括客室センター長の河本宏子氏、12月17日に(株)ジェイティービー会長の田川博己氏（HT学部客員教授）を招き、講義が行われた。

帝国ホテルの小林会長は、日本の歴史と共に歩み、開業125周年を迎えた帝国ホテルの歴史について紹介したうえで、東京オリンピックが開催される2020年に向けて、「訪日外国人客にとってホテルとは、その国の印象を決める重要な要素となる。帝国ホテルは民間外交の一

翼を担い、観光立国実現に貢献したい」と語った。

今後は1月14日にウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンの塚越隆行ゼネラルマネージャーを招いての講義が行われる予定。



講義する帝国ホテルの小林会長

2015年度 浦安キャンパス公開講座

「浮世絵から読み解く江戸文化」

10月17日、浦安キャンパスで2015年度公開講座「浮世絵から読み解く江戸文化～ボストン美術館非公開浮世絵作品との奇跡の出会い～」が開催され、浦安市民をはじめとする多くの受講者が来場し、500人収容の大講義室は満席となった。講師として招かれた牧野健太郎氏（公益社団法人日本ユネスコ協会連盟評議員、NHKプロモーション上席執行役員、明治大学リバティアカデミー・NHK文化センター講師）からは「浮

世絵の暗号を読み解く：ボストン美術館スポルディング・コレクションの作品と共に」。次いで、HT学部の岩下哲典教授は「浮世絵に隠された江戸庶民の風刺精神」と題した講演を行った。

牧野氏はボストン美術館に寄贈收藏されていたスポルディングコレクションの浮世絵6,500点をすべてデジタルアーカイブ化することに携わり、それらのデジタル化された浮世絵をスライドに映し出し、細

部を拡大しながら絵に隠された秘密を解説。スクリーン全面に映し出された浮世絵の美しさに来場者は息を呑み、牧野氏のユーモアを交えた軽快な話術に会場は大いに盛り上がった。

講演後は両講演者に加え、日本のコンシェルジュの草分けとして著名なHT学部の阿部佳教授をモデレーターとして交え、「浮世絵コード：浮世絵と江戸文化」をテーマとした対談が行われた。それぞれの観点から浮世絵についての解釈を述べ、活発な議論が展開された。受講者からは「斬新な切り口に浮世絵の見方が変わりました」「デジタル化した浮世絵だからこそ細部まで見ることができ、そこに隠されたこだわりやメッセージを知ることができ大変興味深い時間でした」「浮世絵を通して江戸の文化や技術力について説明していただき、とても楽しい講演でした」などの感想が寄せられた。



大講義室を埋めるほどの人気をみせた公開講座

不動産
キャリアデザイン

浦安市長による講演

不動産学部 授業科目「不動産キャリアデザイン」は、不動産業界の第



講演する松崎浦安市長

一線で活躍している企業人や行政トップを講師に迎え、学生の就職意識の向上を図ることを目的に開講されている。

11月19日、浦安市長の松崎秀樹氏が講演し、同市の地理的特徴や発展の歴史、少子高齢社会への対策、災害対策など、幅広い分野について詳しく解説をいただいた。浦安市においても子供の数が減少し、今年4月には本学浦安キャンパスに近い入船北小学校と入船南小学校が統合して入船小学

校として開校した、といった身近な例を挙げながら少子化の現状について説明された。

松崎市長が「日本全体で初婚年齢が男女共上がっており、結婚しない人も増えていることから、浦安市では若い人たちの出会いを応援しています。その名も『婚活in浦安リゾート』。25歳から45歳までの独身男女各100人が対象で、浦安市在住でなくても申し込めることから日本各地から応募があり、カップリング率30%以上という実績を残しました」と話すと、学生たちからどよめきが起こり、興味津々な様子で熱心に話に聴き入っていた。

講演後の質疑応答では学生から多くの質問があり、大変充実した講演となった。

不動産学
シンポジウム

「都市ストック」と「不動産市場」の関係を多方面から分析

11月2日、すまい・るホール(住宅金融支援機構本店)で本学不動産学部主催のシンポジウム「2020年東京の都市ストックと不動産市場～『経済』『工学』『評価』『法律』『財政』5つの不動産学的アプローチによる考察～」が開催された。

はじめに、住宅金融支援機構調査部海外調査担当部長(兼任)経営企画部国際対応担当部長の小林正宏氏と、UR都市機構東日本都市再生本部都心業務部長の里見達也氏による基調講演が行われ、日米欧の住宅市場とマクロ経済動向の見通しや、東京都市の未来予想図について解説された。

続いて、不動産学部教員らによる研究報告が行われ、前川俊一教授が「日本の都市財政の将来」について、周藤利一教授が「グローバル化における日本の都市ガバナンスに求められる視点」について、小松広明准教授

が「建物価値の経年減価要因と不動産投資家の意識構造」について、それぞれ報告を行った。

引き続き行われたパネルディスカッションでは、研究報告に関する参加者からの質問に答えながら活発な意見交換が行われ、不動産学の専門家の話に熱心に聴き入る参加者の姿が見られた。

総合司会を務めた中城康彦不動産学部長は、「本学部は来年創設25年の節目の年を迎える。今回の不動産学シンポジウムはいわばプレイベントとして不動産学の考え方と具体的な成果を開示した。今回は研究を前面に出したプロ仕様だったが、次回以降は教育の側面も取り込んだ内容にしていきたい」と話した。



パネルディスカッションの様子

明海スポーツ MEIKAI SPORTS

輝かしい戦績を残す

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会空手道部

男子2階級で優勝・歴代最高の戦績

11月1日に慶應義塾大学日吉記念館で開催された第26回関東学生空手道体重別選手権大会において、多く

の強豪選手がひしめく中、本学空手道部の3人が優秀な成績を取めた。優勝した遠山大輔選手（経済学科4

年）は「同じ大会で、一昨年は準優勝、昨年はベスト

16で、ついに今年は優勝することができました。大学で個人優勝するのは初めてなのでとても嬉しいです」と笑顔で喜びを語った。上妻優介監督は「男子個人組手5階級中3階級に出場し、うち2階級で優勝。日頃の練習の成果が発揮され、たくましく育った選手達の姿を見ることができ嬉しく思う」と、空手道部発足以来、最高の戦績となった喜びを語った。来年も空手道部のさらなる活躍に期待したい。大会の結果は以下の通り。



森選手・竹中選手・遠山選手

■男子個人組手

- 森龍斗選手（経済学科2年） 60kg級 優勝
- 遠山大輔選手（経済学科4年） 75kg級 優勝

■女子個人組手

- 竹中梓選手（経済学科4年） 68kg級 準優勝

体育会ヨット部

ジュニア世界選手権3年連続出場決定!

11月4日から8日にかけて神奈川県江の島沖で開催された第80回全日本学生ヨット選手権大会において、総合8位（470級14位、スナイプ級8位）となり2年連続の総合入賞を果たした。國府田由隆監督は「全国制覇を目標に挑んでいたので入賞では満足できず、非常に悔しい。多くの課題が残った大会となった」と語った。

また、11月17日から23日にかけて鳥取県境港沖で開催された第44回全日本470級ヨット選手権大会兼第29回全日本女子470級ヨット選手権大会では、木村沙耶佳（経済学科3年）・林優季（経済学科3年）ペアが全日本女子470級選手権4位入賞を果たした。さらに、本大会は2016年ジュニアワールド代表選考レースも兼

ねており、日本代表2枠の中に入った。

この結果、2016年にドイツで開催

される国際470級ジュニア世界選手権大会への出場切符を手に入れた。同ペアは、昨年はイタリア、今年はギリシャで開催されたジュニア世界選手権大会に参加しており、3年連続出場の快挙となる。年々進化し続ける同ペアの活躍に目が離せない。



木村・林ペア

浦安キャンパス
第28回明海祭

10月30日から11月1日の3日間に



国際色豊かな学生団体の模擬店

わたり、「Colorful」をテーマに第28回明海祭が開催された。

明海祭では、毎年大人気の学生による模擬店やフリーマーケット、来場者参加型の抽選会のほか、人気アーティスト「MY FIRST STORY」のコンサート、お笑い芸人「おかずクラブ」や「デニス」らのライブなど、さまざまなイベントが開催された。また、屋外ステージでは吹奏楽

部やダンスサークルなどの本学学生による発表に加え、地域の方々が行う太極拳同好会やメイカイクラブのパフォーマンスもあり、会場を大いに沸かせた。

学園祭実行委員長の望月彩加さん(英米語学科3年)は、「学内団体の模擬店1位を決める『M-1グランプリ』や、浦安市内の小学生を対象とした『小学生クイズ』など、新たな企画を実施し例年以上に大きな盛り上がりが見られ、今年のテーマである『Colorful』のとおり、個性が活きた明海祭となりました」と語った。

第45回けやき祭開催

10月10日、11日の2日間、坂戸キャンパス学園祭「けやき祭」が開催された。本学創立とともに歩み、今年で45回目を迎えた「けやき祭」は、「挑戦」をテーマに掲げて多彩なイベントを催し、多くの来場者でにぎわった。

さまざまな模擬店やバスケットボール大会、人気お笑い芸人「三四郎」「おべんとばこ」によるライブなどが行われ、毎年好評のクリニカルリサーチ

部による「骨密度測定」には多くの地域住民が参加し、学生との交流を楽しむ姿が見られた。また、当日はオープンキャンパスも同時開催され、普段とはちがう大学の様子を楽しむ受験生の姿も見られた。

けやき祭実行委員長の佐藤暁丸さん(歯学科4年)は、「『挑戦』をテーマに、歯学部ならではのプログラムを実施したことで、歯科に興味を持っていただき、

地域の方々ともさらに交流を深めることができたと思います」と語った。



けやき祭ならではの地域住民との触れ合い

2016年度入試日程 詳細は必ず入学試験要項をご確認ください。

浦安キャンパス 外国語(日本語・英米語・中国語学科)/経済/不動産/ホスピタリティ・ツーリズム学部

入試区分	出願期間	試験日
一般入学試験(A方式)	1/8(金)~1/20(水) 【消印有効】	1/30(土)、1/31(日)※試験日自由選択制 ※郡山、新潟、静岡の各会場でも実施
大学入試センター試験利用入学試験(A方式I期)		1/16(土)、1/17(日)大学入試センター試験 ※本学での個別学力審査はありません
大学入試センター試験利用入学試験(A方式II期)	2/1(月)~2/8(月) 【消印有効】	

■お問い合わせ 浦安キャンパス入試事務室 TEL 047-355-5116 ※インターネットからも出願できます。

坂戸キャンパス 歯学部

入試区分	出願期間	試験日
一般入学試験(A日程)	1/8(金)~1/20(水) 【郵送必着】	1/25(月)
大学入試センター試験利用入学試験(A日程)		1/16(土)、1/17(日)大学入試センター試験 1/25(月)面接試験 ※仙台、福岡の各会場でも実施

■お問い合わせ 歯学部入試事務室 TEL 049-279-2852